



【発行元】

株式会社 **コマガタ**

〒950-1325 新潟県新潟市西蒲区小吉 2127-3

TEL **025-375-8333** FAX **025-375-8335**

✉ info@komagata.co.jp

🌐 http://www.komagata.co.jp/

営業までお気軽に  
お問合せください。

## 連休も終わり…

ゴールデンウィークも終わり、初夏の香りが街中に漂っています。つい最近までどか雪に悩まされていた新潟県も、今ではすっかり夏模様。スポーツに励む人や半袖姿の人などが目立ってきました。この時期は、チューリップや鈴蘭などお花もたくさん咲き始め、見ているだけで気持ちが前向きになりますよね。紫外線対策をして積極的に散歩に出かけたいと思います。



## 特殊な材質の箱をご紹介します！



正面



材質アップ



開いた状態



底面

## はちみつの箱

仕様：BF 片段

担当営業



駒形 崇

この箱は蜂蜜を入れる為の箱です。商品のイメージカラーに合わせた色を箱に使用したいとのことで近い色を何種類か提案させて頂きました。最終的にはゴーヤ色が近いということでその色で決定しました。材質も使用していた片面段ボール材質が希望とのことで写真を一見しただけではわかりにくいかもしれませんが材質は段ボール素材を使用しています。段ボールと言えば茶色が一般的ですがカラーバリエーションも意外と豊富にあります。仕上がりがもしっかりしていて安心して使う事が出来るとの声を頂きました。

スタッフブログ

## 電子書籍についての考察



最近、「読売KODOMO新聞」を購読しました。時節から教科書の話が出ていたのですが、欧米では教科書は貸出とのこと。長年使えるように表紙が分厚くなっていて、表紙の裏に名前を書き込む欄があり、毎年新しい生徒が名前を書き込んで使いまわしていくそうです。またアメリカは、州によって教育内容が異なるため、教科書会社が「どの州でも使えるように」と教科書を分厚くするのだそうです。ちなみに算数の教科書のページ数は、日本が197ページなのに対しアメリカは975ページ。約5倍も違います。。表紙が分厚い本をハードカバーといいますが、アメリカでは平均25ドルほどの価格がついているそうです。

これらの事を考えると、アメリカで「アマゾン」「アイパッド」「キンドル」などが誕生した理由が想像できます。それは単純に「本が重くて高いから。」本が重ければ通販で買いたくなりますし、ハードカバーの本より軽くて安ければ「電子書籍で読もうかな？」という気になると思います。読み手の利便性が、既存の本より電子書籍の方が優れているということになりますね。

これに日本の状況を鑑みたらどうでしょうか？ 私なんかはソフトカバーの本をよく購入するのですが、だいたい700円程度から2,000円程度です。本をゆっくり読む時間はあまり取れないので、パラパラ読み

をして興味を持った部分だけよく読むなんてこともしょっちゅうです。電子書籍では、パラパラ読みなんてできないですからね。

アイパッドを買って2年くらい経ちますが、電子書籍を読むことは全くありません。最初の頃だけですね。興味本位で読んだのは。電子書籍のタイトル数も少ないですね。ということを見ると、紙の本が無くなるということは日本では考えづらいのかなと。しかし、電子書籍は「アイパッドやキンドルで読みたい人向け」には存在価値があると思います。つまり、電子書籍は紙の本とバッティングする性質のものではなく、本に書かれているコンテンツを読むためのツールの一つということですよ。その人のライフスタイルに応じて好きな方で読めれば良いと思います。

そのように考えると、「紙の本」と「電子書籍」は、共存共栄の関係にあるんじゃないでしょうか？ 今まで「紙の本」で読まなかった人が「電子書籍」で読むようになれば、結果として読書人口がひろがり、「紙の本」と「電子書籍」をその人に合ったスタイルで購入するようになるでしょうから。〈駒形 和彦〉





# 今月の流行りダネ

テーマは…  
身につける付箋



私が最近注目しているのは、遊び心あふれる付箋「ドケットウォッチ」です。こちらの人気の秘密は、腕時計をかたどったユニークなデザインと身につけられる機能性にあるそうで、とにかく見た目がかわいい!! おもしろい!!

学生の頃、忘れ物をしないように手をメモ代わりにしていた人がいましたが(私もその一人です…)これがあつたら、うっかり手を洗ってしまって書いたことが消えてしまった～! なんてこともなく、忘れ物も減ったかもしれませんね(笑)

こちらの良い点は見た目だけでなく、手がふさがっている屋外での作業やイベント運営時などのデスクを離れた現場でもとても便利です。実用的でありながら、忙しい毎日に癒やしを与えてくれる付箋。今後も注目です☆ (渡辺)



▲時間もメモ出来ます!



◀なんとリングの形をした付箋もありました!!



【参照 HP】  
雑貨メーカー直営店舗  
アーティミス  
<http://www.rakuten.co.jp/artemis-zakka/>  
◀「80%に支持されるモノばかりでは息が詰まりませんか、もう少し頑張ってみましょうか。10%に熱烈支持されるものづくりが大きなステップアップにつながる事を忘れずに。」素敵なコンセプトをお持ちのところですよ。見習いたいです。

## Web担当のつぶやき 豆腐の文明開化



正直、この文言が妥当かどうかは全くわかりません(笑)。ただ、お豆腐屋さんにとってはその位の衝撃だったのではないかと考えた次第です。

『「ザクとうふ」大ヒット 予想外の活用法で100万丁達成? 前橋』  
(<http://sankei.jp.msn.com/region/news/120510/gnm12051013190005-n1.htm>)

ガンダムと豆腐をつなげる発想がすごいです。その前に、5千丁売れたらヒット商品という業界においてまさかの100万丁。え、万? お豆腐やさんが創通の株価に影響してしまうという一見不思議な関係に見えますが、コンテンツのミックスジュースが思わぬ業界を気づける素敵な例なのではないかと思えます。なんでもガンダムにしておけば良いというものでもないだろう…とも思ったりしますが、結果として考えるならいいような気も(笑)。

ここで大事なことは、ガンダムであることよりも、遊び心と、発想をととても大事にしたことなのかなと思ったりしました。「そんなふざけたこと」とか「豆腐は四角いもんだらう」と言っていたら思いつきませんしね。発想はくだら

ないと思う物ほど人がしないことなので大事にするべきというのが持論ですが、私自身がふざけすぎていてたまにスルーされる悲しさがあります(笑)。そこはほどほどに…。

余談ですがガンダムが世に出てからを逆算してみると、一番アツいファン層が丁度健康に気をつけたい歳のお父さんになっている頃でしょうか。そこまで考えていたかわかりませんが、ヘルシー食材の一つとして更に購買意欲が高まりそうところですね。

パッケージが更に豆腐の商品価値を高めているわかりやすい例にもなりそうです。友達から「ザク豆腐結構つゆだく!」という謎のザク豆腐の写メもらうのはいいのですが、私まだ食べていないのでそろそろ食べたい…。(遠藤)



## コマガタ制作スタッフ オモシロ写真館



「宇宙兄弟」 撮影：桑原  
先月からはテレビアニメが始まり、ゴールデンウィークには映画も公開されましたが、もともとは漫画で、読んでみたいと思っていたら、1話試し読みのフリーペーパーが置いてあり、ラッキーと思いました!!

## 【第一回】箱屋豆知識

### 「キャラメル箱の名前の由来って?」

箱の上下に差し込みのふたがついた箱です。キャラメルが入ってる箱が名前の由来なんですって。思わずそのまんまじゃな〜!と突っ込みたくなりますが、覚えやすいです(笑)  
お菓子の箱など、比較的軽い品物を入れる様々な用途で使用されています。

